



# 叶える印刷

# 応える印刷

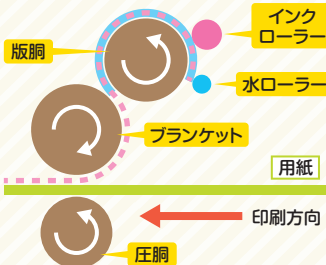
当社は今年で62年目を迎えました。目まぐるしい技術進歩とデジタル化社会の中で、次への取り組みに挑戦します。  
 未来に向けての環境保護や、当社を通じての社会での役割。  
 ISO14001の環境管理で培ったマネジメントシステムに基づき、商品化を目指しています。

コストパフォーマンスが  
 エコに繋がります。

## ご希望にきちんと応える体制

コストダウン、環境に配慮した印刷方式でご提案しています。

入稿データを感材の板に焼き付けて「版(製版)」を作ります。その版に液体状のインクをつけて、「ブランケット」と呼ばれるゴム製のローラーに転写し、紙に転写します。



## オフセット印刷

一部でも1,000部でも使う版は1版なので、製版は部数を問わずコストは同じ。  
 したがって大量部数になるほどコストが下がります。

冊子など部数・ページ枚数の多い商品に

## デジタル印刷

デジタルデータをレーザー光線で焼き付け、4色のトナーを紙に転写し、熱で圧着させる方法です。



版を作製する必要がないので1枚からOK。小ロット・短納期に。

チラシ・ポスター・カタログ・DM など

## オフセット印刷でエコ

- ★ 環境配慮用紙の積極的な提案。
- ★ 廃棄につながるミスロス(版・紙)の低減を徹底。
- ★ 印刷工程から発生する損紙等を製紙原料へリサイクル。
- ★ 印刷機や室内、未使用時の電源OFFなど省エネルギー体制。
- ★ 洗浄剤・処理剤等、体に優しいグリーンプリンティング認定商品を使用。

## グリーンプリンティングとは

日本印刷産業連合会では、印刷産業界の環境自主基準「印刷サービスグリーン基準」を制定。グリーンプリンティング認定制度(GP認定制度)を設けました。基準を達成した工場・事業所など環境経営に積極的な企業を推奨しています。さらに、同基準に適合した印刷製品にグリーンプリンティングマーク(GPマーク)を表示しています。

このマークが目印!



GREEN PRINTING JFPI  
 P-Z10001

この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

- 1 環境配慮の度合いを示します。(3段階)
- 2 GPマークは、印刷製品の製造工程と印刷資材が環境配慮されていることを示しています。
- 3 GPマークの下には印刷製品を製造した認定工場の認定番号が記されています。

## デジタル印刷でエコ

- ★ 在庫を抱えない必要時、必要枚数の提案。
- ★ 直接データから印刷するため調整する損紙、ロスを低減。
- ★ 薬品等の使用なしで、廃棄物を削減。
- ★ 製版等の印刷工程がなくスピーディで、時短・作業効率が良い。
- ★ 省電力機能の活用で印刷機の環境負荷を低減。

## 書体のお話。

## シネマ書体

「字幕書体」がデジタル化されて「シネマ書体」が誕生しました。(←シネマ書体)  
 字幕書体で有名なのが映画字幕師「佐藤英夫」さんによる手書き文字です。独特のデザインと独特の配置の心地よさが映画に一味添えています。そして「シネマ書体」は90年代末から徐々に使われ始め、ワーナーブラザーズジャパンでは「A.I.」(2001)において初めてシネマ書体が採用されました。かなり以前にドキュメンタリーで字幕書体のことが放映されていました。字幕をフィルムに焼き付けるアナログ作業工程で文字の閉鎖された箇所(丸い箇所を除く)が黒つぶれてしまいます。技術的なお話は割愛しますが、解決法として文字自体に「すき間」を作ることでこの問題が解決されました。書体の個性的なデザインとこの「すき間」が、もう一つの大きな特徴です。アナログ工程が異なる、すき間のないデザインの書体もあります。もともと魅力的なデザインの書体ですので、デジタル化が進んでから字幕を飛び出してさまざまな舞台上で活躍しています。印刷物をはじめとして、テレビのテロップでも使用されており、独特の味わいを表現し、映し出しています。

映画すOK

書体がデジタル化されて汎用性を帯びて、大成功だったのは「シネマ書体」ではないでしょうか。

制作課 木村